

ドナルド・トランプ：我々はシリアから引き上げる、もう 他の者たちに任せる

大統領が中東からの撤退を発表

【訳者注】この発表は確かに“サプライズ”で、トランプは狂ったように見えるかもしれないが、これは彼が正常さを保っている証拠である。これは、「神は曲がった線を用いてまっすぐに書く、上・下」の、Q²の情報から推察できる。トランプは下腹の弱点を握られていることもあって、イスラエル（シオニスト）にゆすられ、彼らの命令で行動している。しかし彼らは、第2のケネディは作らない方針で、自分がいわば重用されていることも知っている。そこで、アメリカ大統領が、イスラエルのために働くくらいなら、大統領職そのものをオチョコってみせることにした。超タカ派のジョン・ボルトンをアドバイザーに据えたときも、彼は言ったではないか——「私は更迭が趣味でね、今度は妻かな、アッハッハ」。

「…今はもう、他の者たちが勝手にやればよい」とは、拡大イスラエル計画（Extended Israel）の手伝いをするつもりはない、イスラエルが勝手にやれ、ということに違いない。彼がキチガイを演ずるのは正常な証拠である。彼の撤退命令が素直に聞かれることには、まずならないだろうが、その効き目はあるだろう。

Daniel Newton | @NeonNettle

March 30, 2018



ドナルド・トランプ大統領は、木曜日午後、オハイオ州リッチフィールドで、インフラストラクチャー・ウィークの一環として行ったスピーチの中で、「米軍はシリアから撤退する予定だ」という、“サプライズ” 発表を行った。<http://www.neonnettle.com/tags/syria>

トランプは続けて、最近の ISIS の敗北に言及し、またアメリカの境界の防衛を、崩れていくインフラストラクチャーの「再建」の一部として語った。

「我々は、ごく近いうちに、シリアから引き上げることにする。今はもう、他の者たちが勝手にやればよい。」

トランプはまた、アメリカは中東に、7兆ドルものカネを費やしたと言い、彼らのために学校をいくら建てても、反乱軍によって破壊され、最後には、アメリカ自身の学校のための資金もなっている、と言った。



「我々が学校を建てると、彼らがそれを爆破する。我々がそれを再建すると、彼らは、今はまだ爆破していなくても、そのうちやるだろう。」

大統領は、次にこう言った：――

「我々は、ごく近いうちにシリアから引き上げる。もう今は、他の者たちがその面倒を見ればよい。…我々は、彼らが言うところのカリフ国――土地 (land) とも呼ばれているものを、100%もつことになる。我々はそのすべてを取り返すだろう。」

トランプはまた、南北朝鮮の間の“壁”と、国境を護っている 3万 2,000 の米軍部隊を指摘

し、アメリカのメキシコとの国境は護られていない、と言った。

「これはちょっと、間違っているのではないだろうか？」と、トランプは問うた。



トランプは最近、サウジのサルマン王に、シリアでの、ワシントンの増加する費用の対象の一つは、リアドも共有していると言い、40億ドルの負担を要求した。

<http://www.neonettle.com/news/3954-donald-trump-requests-4bn-from-saudi-king-for-us-objectives-in-syria->

Zero Hedgeによれば、シリアについてのトランプの発言は、先月ワシントンでの、オーストラリア首相 Malcolm Turnbull との記者会談で、言ったことと一致している。米大統領はそこでこう言った：—— <https://www.zerohedge.com/news/2018-03-29/trump-were-coming-out-syria-very-soon-others-can-take-care-it-now>

「我々がそこにいるのは、たった一つの理由のためだ。ISISをやっつけて、ISISの始末をつけ、それから帰国することだ。他のどんな目的のためでもない。我々はあらかじめ、その目標は達成している。」

しかしこれは、国務省や軍の、彼の部下の以前の宣言に、真っ向から逆らうものである。

1月に、前の国務長官レックス・ティラーソンは、「アサド後のリーダーシップ」への平和的な権力移譲を確保するために、米軍は引き続いてシリアに駐留するという計画の概要を述べたところだった。それより前、12月には、ペンタゴンが、アメリカ軍は「我々のパートナーを助け、テロリスト集団が帰ってこないように、我々が必要とされる間は」シリアに居続けるつもりだ、と言った。

——以上